

つるべとられ道×SDGs スタンプラリー事業

団体名●新ゼミナール／代表者名●新 広昭（副学長・教授）

はじめに

金沢星稜大学は白山市と包括連携協定を締結し、SDGs 未来都市である白山市のプロモート活動に取り組んでいる。その一環として新ゼミでは松任駅南側地区に立地する白山市の文化施設や「まっとうまちなか商店街」の店舗への来訪者の回遊性を作り出し、同地区の賑わい創出につながる活動を行ってきた。2023年度の活動として、10月15日に「まっとうまちなか協同組合」が白山市の支援を受けて実施するイベントである『白山・松任つるべとられて秋祭り』の中で子供からお年寄りまで家族で楽しむことができ、4つの文化施設と商店街の10店舗の計14か所を回遊しながら、各ポイントでSDGsを学ぶことができるスタンプラリーを実施した。

活動内容

この取り組みには、まっとうまちなか商店街、白山市に加えて松任高校とも連携して実施することとなった。さらに、本学から牧野ゼミナールが「つるべとられ道コンサート」を行うこととなった。

松任駅南側地区の大規模イベントということで、2023年5月10日を皮切りに6回の打ち合わせ（実行委員会）を開催した。

また、新ゼミではスタンプラリー広報用のポスターおよびチラシ作成、SDGs 学習用のポスター、スタンプラリー台紙作成、シール作成（シール作成は大半が松任高校の生徒が担ってくれた）、スタンプラリースタンプラリー参加者対象の Web アンケートの作成等の準備に追われた。

スタンプラリーの拠点施設は、松任市の文化施設4館：千代女の里俳句館・松任ふるさと館・中川一政記念美術館・白山市立博物館、まっとうまちなか商店街11店舗等：田中屋、長佐呉服店、フォーレン、花の村松、五代目茶屋、聖興寺、旺徳福、こめ倉珈琲、酒のミヤムラ、きつつえんさ、ふくふくランドであった。

成果、結果の考察

当日雨天ではあったが、スタンプラリー参加者は約200名と一定の成果を収めることができた。また、松任高校から連携の申し出があるなど多様なステークホルダーとの関係性を構築できたことは学生のキャリア形成にとっても有益であった。また、参加者の中には家族連れだけでなく、地元の高齢者も参加し、家族や友人と協力しながら楽しそうに店舗や文化施設を回っていく姿が見られた。

商店街の店舗に協力していただいた景品は好評で、喜んで持ち帰る参加者の姿を見られた。これらは、長い目で見て商店街や文化施設のプロモートにつながり、SDGの11の目標である「住み続けられるまちづくりを」に貢献すると考える。



スタンプラリーのポスター、台紙、本部受付

今後の課題、展望

まっとうまちなか商店街、白山市、松任高校からは来年度の連携もお願いしたいとお話もいただいており、企画内容をブラッシュアップしていきたい。